

## 令和2年2月定例会会議録（第3号）

令和2年3月5日 木曜日 午前10時00分開議

平 進 介 議 長                      内 谷 邦 彦 副議長

### 出席議員（16名）

1番 鈴木 一 則 議員	2番 勝 見 英 一 朗 議員
3番 渡 部 正 之 議員	4番 鈴 木 裕 議員
5番 竹 田 陽 一 議員	6番 金 子 豊 美 議員
7番 浅 野 敏 明 議員	8番 内 谷 邦 彦 議員
9番 渡 部 秀 樹 議員	10番 鈴 木 富 美 子 議員
11番 赤 間 泰 広 議員	12番 梅 津 善 之 議員
13番 小 関 秀 一 議員	14番 今 泉 春 江 議員
15番 蒲 生 光 男 議員	16番 平 進 介 議員

### 欠席議員（0名）

### 説明のため出席した者

内 谷 重 治 市 長	遠 藤 健 司 副 市 長
齋 藤 環 樹 統 括 監	竹 田 利 弘 総 務 参 事
小 関 浩 幸 厚 生 参 事	中 田 浩 之 兼 地方創生参事兼総合政策課長
近 藤 智 規 総 務 課 長	鈴 木 嗣 郎 会 計 管 理 者 兼 税 務 課 長 兼 会 計 課 長
渡 部 和 裕 公 共 施 設 整 備 課 長	新 野 弘 明 財 政 課 長
金 子 剛 市 民 課 長	小 林 克 人 地 域 づ くり 推 進 課 長
梅 津 義 徳 福 祉 あ ん し ん 課 長	小 林 克 人 健 康 課 長
飯 澤 常 雄 代 表 監 査 委 員	加 藤 潤 子 子 育 て 推 進 課 長
牛 澤 敏 宏 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	土 屋 正 人 教 育 長
藁 谷 尊 産 業 戦 略 監	寒 河 江 忠 農 業 委 員 会 会 長
桐 生 芳 弘 兼 産 業 参 事 兼 産 業 活 力 推 進 課 長	青 木 邦 博 建 設 参 事 兼 公 共 事 業 推 進 調 整 参 事
赤 間 茂 樹 教 育 参 事	沼 澤 孝 典 農 林 課 長 併 農 業 委 員 会 事 務 局 長
蒲 生 浩 美 商 工 観 光 課 長	佐 原 勝 博 建 設 課 長
竹 田 洋 上 下 水 道 課 長	井 上 浩 教 育 総 務 課 長
	佐々木 勝彦 文 化 生 涯 学 習 課 長

金 田 文 明	生涯スポーツ課長	菅 秀 一	学校給食共同調理場長
梅 津 浩 一	選挙管理委員会事務局長 併監査委員事務局長	五十嵐 和 彦	消 防 主 幹

### 事務局職員出席者

松 木 満	議会事務局長	山 口 和 則	議事主幹兼議会事務局補佐兼庶務係長
飯 澤 光 梨	議事調査係長	安 達 洋 司	技 士 長

### 議 事 日 程 (第 3 号)

令和2年3月5日 木曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 1 1 番 赤 間 泰 広 議員
  - 2 番 勝 見 英 一 朗 議員
  - 6 番 金 子 豊 美 議員
  - 9 番 渡 部 正 之 議員
  - 1 番 鈴 木 一 則 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

## 開 議

○平 進介議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、赤間泰広議員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

また、勝見英一朗議員から説明資料の持ち込みについて申し出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○平 進介議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

初めに、政党代表質問を昨日に引き続き行います。

それでは順次、ご指名いたします。

#### 赤間泰広議員の質問

○平 進介議長 順位6番、議席番号11番、赤間泰広議員。

(11番赤間泰広議員登壇)

○11番 赤間泰広議員 おはようございます。

公明党の赤間泰広でございます。

公明党は、昨年11月17日、結党55周年の大きな節目を迎えました。これまで公明党を支え応援してくださった党员、支持者、そして国民の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。

1964年、昭和39年11月17日、公明党が誕生した当時、世界はイデオロギーで二分された東西冷戦の真ただ中であり、日本の政界も左右両勢力の不毛な対決構造のもと国民不在の政治に明け暮れていました。その中で国民の声を代弁する政党はないのかとの衆望の高まりを受けて、庶民の中から誕生したのが公明党であります。

大衆とともにの立党精神をかみしめ、地域社会の小さな声を国会や地方議会に届けて市民生活の向上を目指し、今後も精いっぱい頑張ってまいり所存であります。

それでは、通告書に従い質問をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

全て回答は市長及び教育長にご指名しておりますが、適宜関係者にご指名いただきたいと思います。

1番目の質問は、長井市職員の働き方改革と職員採用についての質問であります。

このたび公明党の主張が大きく反映され、就職氷河期世代の活躍のための取り組みが進まされました。

少し就職氷河期世代について説明をさせていただきます。就職氷河期世代とは、バブル崩壊後の厳しい雇用環境の中で、不本意ながら正規雇用につけず、非正規雇用として働いている方や未就職を余儀なくされた方が多い世代で、現時点で30代半ばから40代半ば、高卒でおおむね33歳から44歳、大卒でおおむね37歳から48歳の方々のことを言います。不安定な就職環境、低収入のほかにも、ひきこもりや長期無業など課題もさまざまです。就職氷河期世代のうち、正社員を希望しながら不本意に非正規で働く人は少なくとも全国で50万人に上り、ひきこもりや